



災害対応への
危機感を問う！

渡辺厳太郎（自由民主党）
問 新たに導入されたデジタル無線機が全くつながらない。行政の最重要課題である災害時の情報伝達についていかに考えるか。アマチュア無線の利用や規制の緩和促進等、早急な改善策を求める。
防災安全担当部長 アマチュア無線の活用について、早期に実現できるように検討していきたいと考えています。
高橋副市長 情報の伝達は災害時で一番重要だと考えています。国に働きかけを行うとともに、ほかの方法も研究していきたいと考えています。
問 オストメイト患者のため、ストーマ装具を公的災害備蓄すべきと考えるが。
地域福祉部長 オストメイトの方が準備したものをどこに保管するかということを確認できれば、かなり早期な実現に向けて可能性があるのではないかと考えています。



新規の都市計画
道路の整備他

佐藤伸一郎（自由民主党）
問 東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）へ町田・相模原市が連携する道路整備を位置づけられるように求める。
都市づくり部長 第四次事業化計画の中間取りまとめに對する意見を踏まえ、関係自治体で優先整備路線の選定等さらに検討を行い、15年度末の計画策定を目指します。
問 公有財産の管理インフラ整備や災害復旧等に有効な地籍調査事業の推進を求める。
建設部長 道路管理平面図、道路土地境界図の整備がなされている地域に重点を置きつつ、公共工事との整合についても調整を図っていききたい。
問 行政文書保存については全庁で管理の徹底を求める。
総務部長 管理体制の徹底と改善を行い、市民が必要に応じてすぐに文書を提供できるように努めていきたい。



逞しく子どもが
育てる世の中に

石井くのに（まちだ市民クラブ）
問 まちをランドセルを持ったまま遊べるようにしてはどうか。
子ども生活部長 学校の場合により異なりますが、多くの学校で実施できるよう、教育委員会と協議を進めます。
問 市内各地に家庭教育支援チームを設立してはどうか。
生涯学習部長 まずは保育園あるいは子どもセンターで行われている子育ての取り組みを欠かせないと思っています。



子供たちの
未来のために！

市川勝斗（自由民主党）
問 国民健康保険事業の財政健全化に向けた取り組みは。
高橋副市長 第3期町田市国民健康保険事業財政改革計画のもとで、さらに収納率の向上、医療費の適正化、特定診査及び特定保健指導受診率の向上を進めていきます。
問 次期学習指導要領の改訂を見据え、子供の学力向上が重要だが、教育長の見解は。
教育長 主体的に問題に取り組んで、友達と協力しながら解き方を考えるという共同の探求学習に全ての小中学校で取り組んでいきます。ICTの機能を生かした授業についても研究していきたい。
問 野津田公園の平日利用を高めるため、子供遊び場の拡充を求めるがいかがか。
有金副市長 子どもが楽しめる施設を設置し、家族連れの方もこれまで以上に楽しめる公園としていきます。



地区協議会への
支援について

若林章喜（自由民主党）
問 地区協議会をもとにした地域活性化に向けた今後の支援について問う。
市長 地域のデータや人材を調査し、地域の活動団体が連携していく工夫、地域内の若い方などの意見を反映させるための住民アンケートも検討し、広く地域住民に支持される地区協議会となるよう、積極的に支援をしていきます。
問 全国一斉に策定する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、町田市らしい戦略の策定を期待する。
高橋副市長 町田市が郊外都市ナンバワンを目指す戦略となるように策定を進めていきたいと考えています。
問 道徳の授業では、歴史上の人物や偉人など多く取り入れ道徳心を高めようとしているが、
教育長 今後もさまざまな歴史上の人物を通して児童生徒の道徳心を高めようとしています。



デートDV啓発
と学童施設面積

田中のりこ（まちだ市民クラブ）
問 全国的にDVの保護件数が年々増加する中、食い止めるには、早期の教育が必要だと言われている。デートDV啓発の教育を行えるか。
学校教育部長 出前授業等の制度を整えば、それらを利用して、生徒が望ましい人間関係を築いたり人権意識の向上を図ったりすることが十分期待できると考えています。
問 育成室の面積について



人づくり
づくり百年の計

藤田 学（自由民主党）
問 教育予算の拡充を求め、家庭の経済状況に関わらず志ある子どもたちの学べる環境づくりと支援を求める。
教育長 子どもたちのために真に必要な予算についてはきっちりと確保していきます。補習教室の充実を図り、学習支援をしていきますが、生活困窮者自立支援法に基づいた学習支援については今後研究していきたいと考えています。
問 世代を超え、ターミナルケアを視野に入れた定住型地域包括ケアシステム構築を。
いきいき生活部長 ターミナルケアが地域包括ケアシステム構築に当たり重要な取り組みであると考えています。
問 小山田・北部丘陵のまちづくり計画に下水道整備など生活環境改善の位置づけを。
有金副市長 道路や下水道といった都市基盤のインフラ整備も重要と認識しています。



街づくりの住民
合意 手続 手法

吉田つとむ（保守連合）
問 交通事故被害者の治療国保訴訟の裁判で町田市が上告を断念する経緯を、連携してきた担当医師・病院になぜ説明しなかったか。
いきいき生活部長 市からは直接お話しはしませんでした。が、弁護士を通じて上告をしたということとは伝わっているということです。
問 地区街づくりプランの進め方で、投票・開票過程が必要措置を講じています。
不適切ではなかったか。
都市整備担当部長 賛成票だけ選んで集めたわけではなくて、賛否を含めて回収しているという点で、問題ないかと判断しています。
問 同プランの区域を変更した合意手続が欠けている。
都市整備担当部長 市として基本的な考えに基づき必要な判断を加えた上で、地区住民等の意見を反映するために必要な措置を講じています。



マイナンバー
制の安全対策は

佐々木智子（日本共産党）
問 マイナンバー制度の個人情報保護に対するリスク管理の現状はどうか。
情報システム担当部長 評価に記載した利用方法や対策などを遵守し、セキュリティの維持に努め、職員向けの研修等についても今後実施していく予定としています。
問 DV被害に対する他機関及び庁内連携はどのように行われているか。
市民協働推進担当部長 庁内関係部署及び警察署で構成する関係機関実務担当者会議を開催し、現状や対応など、情報の共有化を図っています。
問 市民センター・コミュニティセンターの行政窓口サービスの現状と、地域相談窓口の拡充を求めるがどうか。
市民部長 処理概要について職員が共有することにより適切なつなぎができるよう対応向上に努めています。



中学校教科書の
採択について

白川哲也（保守連合）
問 今年度は中学校教科書採択の年にあたる。前回の採択時には報告書やスケジュールなど様々な問題点があった。どのように改善したか。
教育長 学校調査の報告書に関するチェック体制を整え、調査協議会からの報告を受けた後、一定の期間を設けてから採択審議を行う予定です。
問 4年前の教科書採択の際、教育委員長が進行役に終



市立中学校 2016年度使用の教科書展示会
(6月5日～7月8日まで開催しました。)

用語の解説 本文中の青文字の解説です

- 屋外拡声子局** 【2面】市民生活全体に重大な影響を及ぼす災害、事故が発生したときに情報提供するための設備。
- ヘルプカード** 【2面】障がいのある方や難病の方等の援助を必要とする方が携帯し、日常生活や災害時、緊急時に必要な支援や配慮を周囲の人にお願ひするためのカード。
- シティプロモーション** 【3面】行政と市民が協力しながら、都市の魅力を市内・市外に戦略的・継続的にアピールすること。

傍聴を希望される方は市役所3階の

議会と傍聴

まよう

本会議・委員会のインターネット放映を行っています。